

かわらばん

今月の一庫ダム



●雨量、貯水池状況、流況

1月の月雨量（ダム流域平均雨量）は58.3mmで、
 平年47.8mmに対し
 約113%の雨量でした。

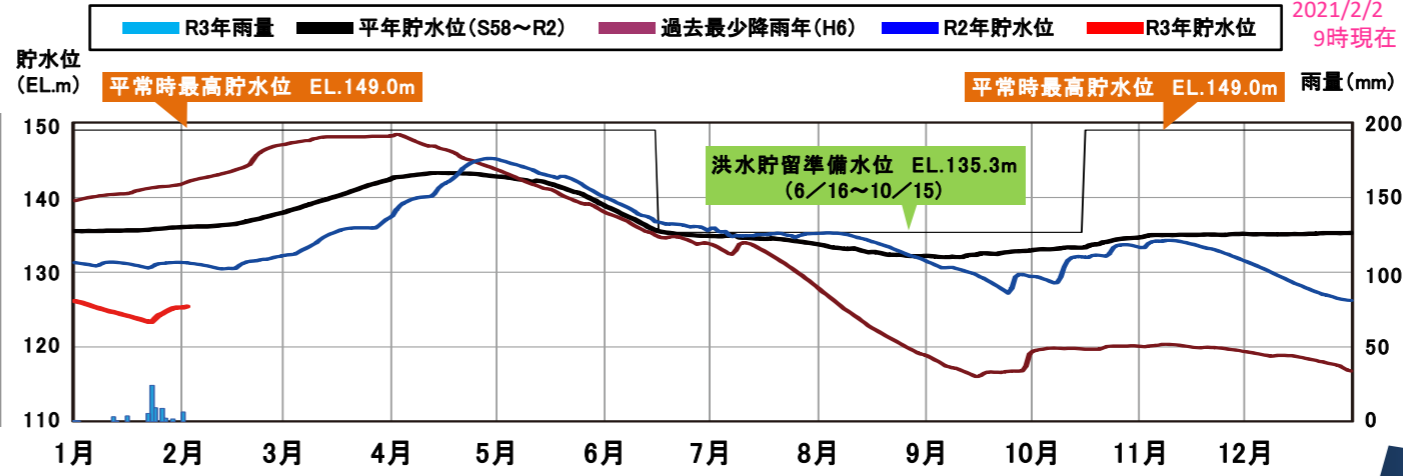
一庫ダムの下流河川の状況は、利水基準地点虫生（むしゅつ）へ22日間、約154万m³を補給しました。

貯水池の状況は、2月2日現在、貯水率は約25.0%です。

貯水池の状況 (R3.2.2撮影)

貯水位
EL. 125.37m

一庫ダムの主な年間貯水位曲線



ツイッターでも情報
 やお知らせをいち早く
 発信しています！
 @jwa_hitokura



Topics

冬の渇水期の俳句に詠まれる「水涸る（みずかる）」という季語があるように、冬は雨が少なく、水（川・池・沼・滝）の水量が少なくなり、冬季を通じて水涸れ状態になる時期があります。

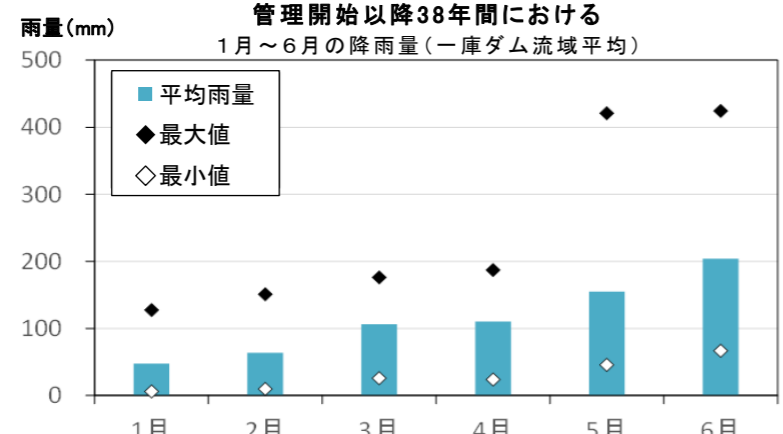
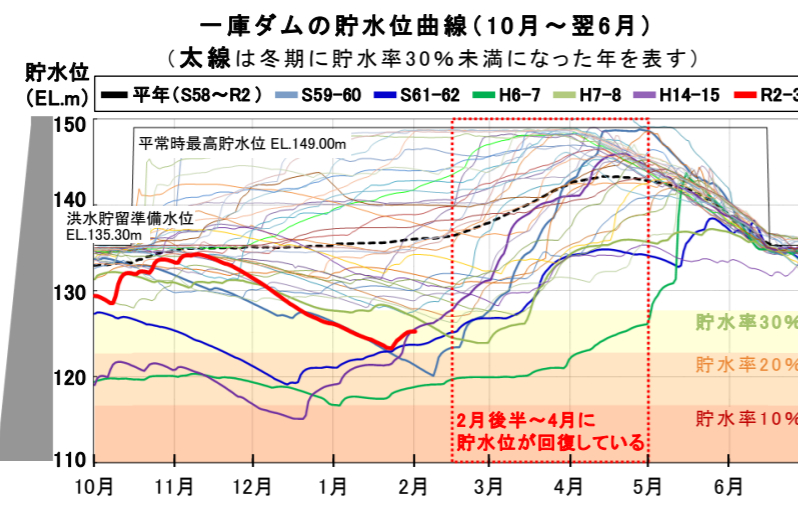
平成14年以來、18年ぶりの
 冬渇水の状況

猪名川流域では、昨年11月から少雨傾向により河川の流量が減少しています。一庫ダムでは、河川の必要水量を確保するため、ダムに貯留している水を断続的に補給（放流）しています。

ダムの貯水率は2月2日9時現在で25.0%となっています。1月下旬に少しまとまった降雨（計45mm程度）があり、回復傾向になっていますが、予断を許さない状況は続いています。

しかし！これから
 菜種梅雨の時期を迎えます。

ダム管理38年目、過去殆どの年でこの時期（2月後半〜4月）に貯水位が回復しています。これからの雨に期待しつつ、更なる貯水位の回復を願っています。



ワンポイント豆知識
菜種梅雨（なたねづゆ）
 3月下旬から4月上旬にかけて、菜の花の咲いている時期に降り続く雨のことを「菜種梅雨」と言います。菜の花をはじめ色々な花を催す（そくす）＝咲かせるという意味で、催花雨（わいかにう）という別名もあります。

一庫ダムオリジナルのプライベートダムカーをお貸ししています。再開の際にはまたお知らせいたします。

一庫ダム
エドヒガン植樹
Project
プロジェクト

エドヒガン植樹プロジェクト・成長記録
植樹から約1年、大きくなった
エドヒガンを見てください！

昨年2月28日にみなさまからの寄附金を活用して一庫ダム下流広場に植樹したエドヒガン。早いもので1年がたとうとしています。
はじめは2mほどの苗木でしたが、その後まわりの先輩エドヒガンが咲き誇る暖かい春を迎え、暑かった夏を乗り切り、積雪も観測された寒い冬を耐え忍びながら、3mを超す大きさに育っています。



今月は改めてエドヒガンの成長を振り返ってみます。



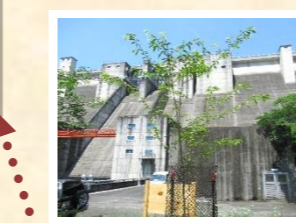
【令和2年11月17日】

穏やかな秋の日差しに照らされるエドヒガンと色づき始めたモミジ。この日は一庫ダムで落ち葉を集めて作った自家製の堆肥をたっぷり。「天高く エドヒガン 肥ゆる秋」のひとつです。



【令和2年2月28日】

「溪のサクラを守る会」のみなさまにご協力をいただき、30本の苗木を植樹しました。



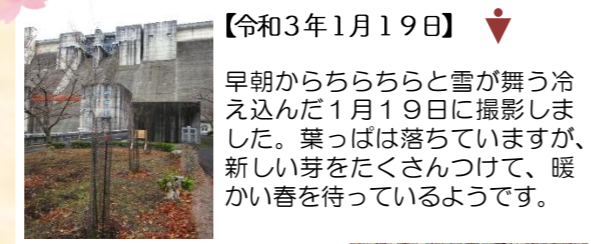
【令和2年6月2日】

初夏の日をたくさん浴びて、小さく綺麗な緑色の葉を風に揺らしながら一生懸命大きくなろうとしています。



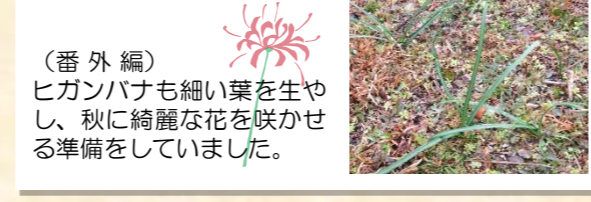
【令和2年8月14日】

暑く、雨が降らなかった令和2年の夏。暑さに負けず頑張っているエドヒガン。みんなで水やりをして大切に育てました。この日は秋・冬に向けて施肥（せひ）を行いました。



【令和3年1月19日】

早朝からちらちらと雪が舞う冷え込んだ1月19日に撮影しました。葉っぱは落ちていますが、新しい芽をたくさんつけて、暖かい春を待っているようです。



(番外編)
ヒガンバナも細い葉を生やし、秋に綺麗な花を咲かせる準備をしていました。

エドヒガンの赤ちゃんも大きくなりました♪

(令和2年4月22日)
かわいらしく目を出したばかりの、いただいた苗木です。



「たに」のみなさまにいただいたエドヒガンの苗木。昨年2月24日に植えたエドヒガンのこと。
4月にいただいた時はポットのなかでかわいらしく葉っぱをちょこんとつけていました。5月の花壇への植替え後はスクスクと元気に育ち、今では140cm程の大きさになっています。ここで後1年間育てる予定です。



(令和2年5月5日)
花壇への植替え作業



(令和3年1月13日)
成長したエドヒガン2

(令和2年11月2日)
成長したエドヒガン1

季節の行事・活動報告

▼エドヒガン移植準備実施中！

2月3日、移植場所の穴掘り作業

一庫ダムでは、ダムが憩いの場となり地域の皆様に親しんでいただけるよう、この地域の山々に自生する桜エドヒガンの植樹などの環境保全活動を長く続けてきております。
エドヒガンは「溪のサクラを守る会」様からいただいた苗木を育て、ある程度の大きさになるとダム敷地内に移します。移植の適期は樹木の成長が止まる今の時期が良いとされ、2月3日、移植場所の穴掘り作業を行いました。

この春も一庫ダムの桜は、コロナ禍に負けず満開の花を咲かせてくれることでしょう。

▼伐採木玉切り（薪）無料配布実施報告
おかげさまで好評をいただきました。

ダム下流広場の環境保全の取組みの中で発生した伐採木を活用する玉切り（薪）無料配布にたくさんの方の申し込みをいただきました。みなさまに「薪ストーブ」や「キャンプ」での薪として使う等々として喜んでいただきました。ありがとうございます。



玉切り（薪）配布の様子



一般駐車場から見える場所にも移植予定。

こちらは右岸側を掘ってます！



苗木が根付くように深く掘る！頑張って掘る（笑）



感想と写真を
いただきました！

薪をわけていただきありがとうございます。田舎住まいで薪ストーブに使用したいです。火持ちも良く乾燥していいです。木の種類はいろいろありますが、少し香りがするの、暖かさ、香り、優しい炎と楽しませていただきました。



応募者様の声
猪名川町在住・T様

独立行政法人 水資源機構
一庫ダム管理所
〒666-0153
兵庫県川西市一庫字唐松4番地の1
TEL:072-794-6671
FAX:072-794-0590
一庫ダムHP